

日本フルードパワーシステム学会主催の国際会議（2017年10月24日～27日，会場：アクロス福岡，本学）

JFPS2017 Fukuoka

修士2年の東島権弥さんが Best Student Paper Award を受賞

平成29年10月24日～27日に、日本フルードパワーシステム学会主催の国際会議『JFPS2017 Fukuoka』がアクロス福岡と本学を会場に開催され、世界12の国・地域から約300名が出席し、約170件の学術講演が行われました。10月25日のオープニングセレモニーでは、本学の下村輝夫学長が歓迎のご挨拶を致しました。

本学大学院修士2年の東島権弥さん（知能機械工学専攻加藤研究室）が機能性流体に関するセッションにて、「DEVELOPMENT OF MANIPULATOR USING A GAS-LIQUID PHASE-CHANGE ACTUATOR」と題した講演発表を英語で行い、10月27日に本学 FIT ホールで行われた表彰式にて、Best Student Paper Award を受賞しました。同日の夜は、バンケット（懇親会）が本学のレストランオアシスで開催され、本学の米田達郎理事がご挨拶し、鏡割りと乾杯が行われ、国際会議は華やかに閉会となりました。（知能機械工学科 准教授 加藤 友規）



下村輝夫学長による歓迎のご挨拶



表彰式にて受賞する東島権弥さん



表彰式（東島権弥さんは右から2番目）



懇親会にて（右端：米田達郎理事）

